

<イベントレポート>

## 平成29年度 亀山市内中学生『職場体験学習』～三重森林管理署～

平成29年6月5日（月）から6月9日（金）までの期間中に、亀山市内の中学2年生の生徒5名を受け入れ、『職場体験学習』を実施しました。

5日間では、三重森林管理署の紹介、国有林のゴミ拾い、啓発ポスターの作成、立木の収穫調査、図面の作成、トランシットでの測定、翼を持った種子の飛び方の実験、ドローンの操作、素材生産事業地の見学、境界標の検測、除伐及び枝打ち体験等を行いました。



【署長からの説明】

初日は、国有林の業務概要説明、ゴミ拾いを行いました。生徒たちは、「三重署が山地災害についても関わっていることを初めて知った」、「森林関係の仕事に興味を持った」などの感想を話しており、森林の大切さ、林業に興味を持ってもらえて大変嬉しく思います。また、工作では松ぼっくりやドングリから、豊かな発想で個性的な作品を作り上げ、とても楽しそうに活動をしていました。

2日目は、悟入谷国有林で収量調査、除伐Ⅱ類を行いました。コンパス測量により標準地の測量を体験してもらいました。枝打作業では、鋸の使い方が難しく、伐倒・枝払いに苦戦していましたが、普段は体験できない作業であり、楽しんで取り組んでいました。

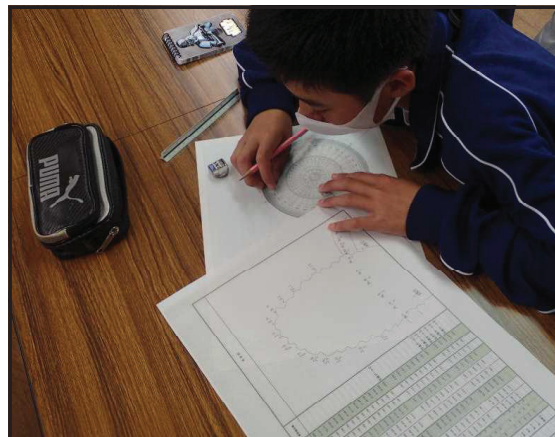


【コンパス測量】

3 日目は、治山業務の概要説明、ドローンの操作やトランシット測量、図面の作成を実施しました。雨天のため署の周囲の測量や座学が多めでした。トランシットでは、「見えた！」といいながら、目を凝らしてプリズムを視準するなど、測量を楽しんでいました。



【トランシット測量】



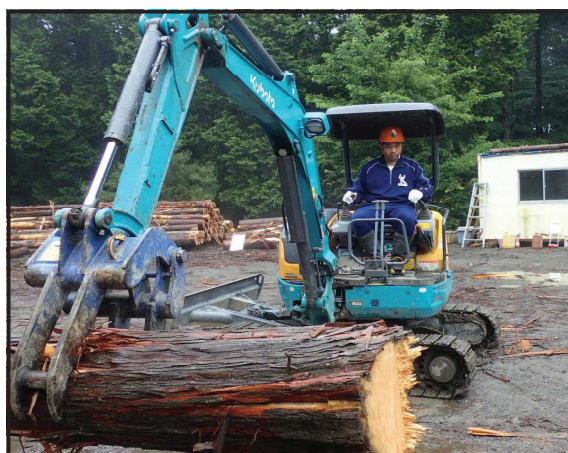
【図面の作成】



【素材生産現場見学】

4 日目は、素材生産現場の見学をしました。チェーンソーにより樹高20m以上の立木があつという間に伐られていく様子は、大変見応えがありました。

小型グラップルによる丸太の運搬体験も行いました。重機を操作した子供たちは、「思ったより簡単に動かせた」、「掴んだり持ち上げる事が想像よりも難しかった」と感想を述べていました。



【重機の操作体験】

5 日目は、境界標の検測、ゴミ捨ての啓発ポスター作成、5 日間の職場体験の振り返りをしました。境界標が何のためにあるのか学び、埋没、欠損していないか等点検をしました。



【検測の様子】



【ポスター作成】

5 日間を振り返って、生徒達からは、「森林を守るためには、いろいろな仕事が必要だと知った」「将来は森林に関わる仕事がしたい」等の感想があり、生徒達にとって充実した職場体験学習になったと感じました。